

第15回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月26日~8月8日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-35-7720/7730

FAX 0940-35-0025

「アジア・ハイスクール・サミット」で 高校生が小学生を招いて 日本や世界の「未来地図」を描きます マレーシア首相に返り咲いたマハティール首相が講師に 93歳と10代が未来のあるべき姿を問答します

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の中西宏明会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した、高校生のための2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体から日本の将来を背負って立つ人財の育成を目指し、2004年に開塾、今年で15回目を迎え、卒業生は今年で2619人となる予定です。これまで卒業生は、日本や海外の大学や大学院に進学・留学した後に、社会人として、外交官、国家公務員、医師、教師、起業家、金融機関や商社、製造業、流通など日本を代表する企業の一員になったり、国際機関や、自ら世界各地でNGOを立ち上げて、社会のために貢献できる人財として、活躍できるようになりました。

【日本の高校生に加え、アジア5カ国から高校生が参加】

今年の塾開催期間は7月26日(木)から8月8日(水)で、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で行います。参加者は、書類選考と面接で選抜された全国27都道府県・アメリカ、ベトナム、台湾から集う日本の高校生175人に加え、「アジア奨学生」として、5カ国(中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)から11人の高校生を無償で招待し、合計186人の高校生が2週間寝食を共にします。アジア奨学生招聘には、独立行政法人国際交流基金のご支援をいただいています。

【一流講師の講義・グループディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。講師は、今年5月にマレーシア首相に返り咲いたマハティール・モハマド氏、元国連事務次長の明石康氏・医師・作家の鎌田實氏、お茶の水女子大学長の室伏きみ子氏、株式会社ぐるなび代表取締役会長の滝久雄氏、中村ブレイス株式会社代表取締役会長の中村俊郎氏、青山学院大学特別招聘教授の榎原英資氏ら20人余りの講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。

講師の講義を踏まえ、講義後90分のクラス別のグループディスカッションを行います。ディスカッションを積み重ねることで、学問のおもしろさを追求するとともに、リーダーとして必要な多面的な思考力や分析力、決断力を養います。クラス担任は協賛企業から派遣された社会人が務めます。キャリア教育の時間も設け、近々学生を卒業し、社会へ出る自分のイメージを膨らませます。また、塾生を指導する大学生のボランティアは卒業生らが務めます。さらに1部屋20人の2段ベッドによる共同生活を通して、自己管理能力を養います。

【アジア・ハイスクール・サミット2018とマハティール首相】

塾の大きな取り組みの一つとして、日本人の高校生とアジアの高校生が2週間かけて議論するプロジェクト型のプログラム「アジア・ハイスクール・サミット」を行います。



今年のテーマは、「日本や世界の『未来地図』を描こう～高校生から小学生へのメッセージ」です。「環境」「戦争・紛争・平和」「働き方」「政治」の4分野で未来の世界で起こりそうな問題を考え、どうしたらその問題が起こるのを防げるか、また解決できるかを2週間かけて話し合い、最終日には宗像市の小学生に授業をします。

これから塾生が生きる50年は、過去の50年に比べて、さらに速いスピードで様々な想定外のことが進んでいくと思われます。塾生は事前課題として、小学4年生～6年生に「最近気になる話題や疑問に思うこと」についてインタビューしました。その結果、最も多かった小学生の回答からこの4つの分野を選びました。塾生には、過去の歴史を学び、たとえば、なぜその戦争が起きたかなど、二度とその失敗を繰り返さないためにどうしたらよかったかを検証した上で、今ある問題も含め、今後50年の世界を思い浮かべながら、それぞれの分野の課題をどう解決したらいいかを2週間かけて考えます。

これまでの「アジア・ハイスクール・サミット」は塾生同士での議論だけでしたが、今年は、初の試みとして、宗像市の小学4年生から6年生の参加者を募集して、8月6日午前には宗像市のグローバルアリーナで高校生が小学生に教えます。小学生にいかにこの時代を生き、明るい未来を築くために考えることの重要性を育んでもらえるのか、高校生が「先生」という立場でチャレンジします。小学生というフィルターを通して考えることにより、リーダーとしての視点で世界が直面する社会問題を塾生一人一人自分の問題としてとらえ、いかによりよい未来を築き、次世代につないでいくことができるのか。自分たちが今、生きている時代だけを考えるのではなく、次世代が生きていく未来を想像して、「考える力」を養います。

今、教育界、経済界などは、小・中・高・大学教育で「考える力」を養う重要性を訴えています。2020年度から導入される大学入試改革の大きな焦点が、この「考えて解決する力」「創造性」をどう見るかということです。紛争、テロなど世界が直面する混沌とした情勢を乗り切るためには、従来通りのマニュアルは通用しません。答えもひとつではありません。日本も例外ではなく、西日本を襲った豪雨が証明したように想定外のことが起こり、刻々と変わる状況をどう解決していくのか、その能力を身に着けることが求められています。リーダー塾を出発点として、15年目の節目に考えてほしいと思っています。

8月7日（火）午前、マレーシアのマハティール首相の前で、2週間の塾中で学んだことを英語で発表し、講評をいただきます。マハティール首相には「アジアの次世代リーダーはいかに未来地図を描くことができるか～93歳から10代へのメッセージ」と題して講義をしていただきます。

マハティール首相は今年5月、前政権の汚職にノーを突きつけるために3年前に立ち上がり、野党連合を組織して、独立以来の政権交代を果たし、首相に返り咲きました。首相に就任して前政権がつくった28兆円もの債務をどう処理していくのか、8月下旬には国民に約束した100日でその道筋をつけることになっていますが、超多忙の中、「どうしても次世代には言いたいことがある」とリーダー塾にいらしてくださることとなりました。

マハティール首相はこれまで15回連続、講師を務めていただいています。2015年のリーダー塾で、塾生が、戦後70年、紛争をなくすための政策を発表した後の講演で、「若い皆さんは様々な理想的な考え方を持っているが、現実の世界はそう簡単ではなく、不幸にも今日の世界を牛耳っているのは若い時の理想を失った老人たちだ。大事なことはどんな時もその理想をずっと持ち続けることだ」と語り、マレーシアに帰国後、汚職疑惑に揺れるナジブ首相（当時）を打倒する「セイブ・マレーシア・キャンペーン」を本格的に組織化しました。今回は、どんな妨害にもめげずに正義を貫いたマハティール首相の政治家の矜持を学ぶ、またとないチャンスとなります。

【宗像大社見学】

7月28日(土)は、昨年7月に世界遺産登録が決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中心となる宗像大社辺津宮(総社)を見学し、日本古来の文化を守り伝えることの重要性、日本人として海や里、山の恵みに感謝し、環境を大切にすることを学びます。また、同日、宗像大社宮司の葦津敬之氏が「宗像の世界遺産への取り組み」と題して講義します。

【明治維新150周年、幕末から維新にかけての佐賀藩の近代化への道と日本と朝鮮半島の交流史を学ぶ佐賀フィールドトリップ】

7月28日(土)～31日(火)は、佐賀にて幕末から明治維新の佐賀藩や偉人たちの挑戦、日本と朝鮮半島の交流史を学びます。今年は、従来の佐賀県立名護屋城博物館見学に加えて、「肥前さが幕末維新博覧会」のメインパビリオンである幕末維新記念館も見学します。

～佐賀県立名護屋城博物館を見学(7月29日)～

佐賀県立名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史をたどり、双方の交流・友好の推進拠点となることを目指して、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に拠点としたことで知られる肥前名護屋城跡に隣接する位置に1993年に開館しました。このため、双方で相いれない史実は、両論が併記されています。塾では、松尾法博・同博物館学芸課長に講義していただいた上で、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料が展示された展示室を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学び、今後の平和のあり方について考えます。また、実際に名護屋城跡を見学し、タブレット端末により当時の名護屋城の様子を再現できる「バーチャル名護屋城」を体験します。

関連したテーマの講師として、同博物館で南北朝鮮の離散家族を描いた短編映画「あの人に逢えるまで」を鑑賞し、映画プロデューサーの李鳳宇氏が「映画で世界をみよう」と題して講義します。また、7月30日(月)には、薩摩焼十五代沈壽官氏が、佐賀県立波戸岬少年自然の家で、「伝統を守り現代を表現する」と題して講義します。

～肥前さが幕末維新博覧会を見学(7月31日)～

明治維新150周年を記念して、佐賀県などが主催して開いている「肥前さが幕末維新博覧会」の幕末維新記念館(佐賀市の市村記念体育館)を見学します。幕末から明治維新时期、国内最先端の科学技術を修得し、日本の近代化に貢献した佐賀。教育改革をして、世に偉人たちを多く、輩出しました。幕末、第十代佐賀藩主鍋島直正(閑叟)による、長崎警備の任からアームストロング砲など西洋技術による製造を指揮し、また、天然痘を根絶するためにオランダからワクチンを輸入するなど革新的な政策を行った姿に学びます。

見学を前にして、佐賀県知事の山口祥義氏が「偉人たちの志を受け継ぎ、未来につなぐ」と題して講義します。また、関連したテーマで7月30日(月)に、大阪学院大学法学部教授の笠谷和比古氏が「幕末日本の国際条約と国際環境」と題して、佐賀県立波戸岬少年自然の家で講義します。

「日本の次世代リーダー養成塾」期間中の取材にお越しの際は、必ず事前に、以下にご連絡ください。

(連絡先)

○ 塾期間中(7月26～8月8日)の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内直通電話0940-35-7720/7730
FAX 0940-35-0025

○ 上記期間以外の事務局連絡先:03-5466-0804 FAX 03-5466-0842

○ 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号は、
090-1113-3914です。

【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師・講義内容一覧
3. カリキュラム表
4. 塾生概要
5. 塾生学校一覧
6. アジア奨学生概要
7. 役員等名簿

第15回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：中西宏明／一般社団法人日本経済団体連合会会長

参画自治体：北海道 青森県 岩手県 静岡県 岐阜県 和歌山県 愛媛県 福岡県
佐賀県 福岡県宗像市 沖縄県うるま市

2 開催日程

2018年7月26日（木）～8月8日（水）

3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は7月28日（土）～7月31日（火）の3泊4日で宿泊

4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 186名

内 訳	参画県推薦枠 (北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、愛媛県、 福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、沖縄県うるま市)	113名
	全国からの一般公募枠	62名
	アジア奨学生	11名 [非公募]

5 カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

- **教養系**（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）
日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。
- **ビジネス系**（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）
世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。
- **国際系**（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）
世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。
- **人間学**（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）
人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約25名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

日本人とアジア各国の高校生が、2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

④ フィールドトリップ

福岡県では昨年世界遺産に登録された宗像大社を見学します。佐賀県では佐賀県立名護屋城博物館にて、日本列島と朝鮮半島間の歴史を当時の貴重な資料や遺産を見学し、学びます。また、明治維新150年事業である肥前さが幕末維新博覧会のメインパビリオンである幕末維新記念館にて幕末維新期の佐賀の偉業や偉人などを勉強します。

第15回日本の次世代リーダー養成塾

講師・講義内容一覧

(敬称略、五十音順)

1. あかし やすし 明石 康 / 元国連事務次長、公益財団法人国際文化会館理事長
「世界の中の日本—もっと外に開く国に」
“Japan in the world – towards a more open, dynamic country”
2. あしづ たかゆき 葦津 敬之 / 宗像大社宮司
「宗像の世界遺産への取り組み」
3. あそう わたる 麻生 渡 / 元全国知事会会長、学校法人福岡工業大学最高顧問
「君は人生100才時代をどう生きるのか」
4. おがわ ひろし 小川 洋 / 福岡県知事
「世界にはばたく！未来のリーダーたちへ」
5. かさや かずひこ 笠谷 和比古 / 大阪学院大学法学部教授
「幕末日本の国際条約と国際環境」
6. かまた みのる 鎌田 實 / 諏訪中央病院名誉院長
「生きているってすばらしい～命・平和・絆を考える～」
7. かみがたらく ごふくおかけんじんたい 上方落語福岡県人隊 (四代目桂梅團治、かつら うめだん じ 桂よね吉、かつら きち 笑福亭風喬、しょうふくていふうきょう 笑福亭呂好)
8. かわかつ へい た 川勝 平太 / 静岡県知事
「海洋アジア—近代文明の母胎—」
9. こくぶん りょうせい 國分 良成 / 防衛大学校長
「東アジア情勢をどう見るか—中国・北朝鮮を中心に—」
10. こてがわ きょうじ 小手川 強二 / フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長
「発酵食品の魅力」
11. さかきばら えいすけ 榊原 英資 / 青山学院大学特別招聘教授
「求められるリーダーの条件」
12. しんじょう あつし 神成 淳司 / 慶應義塾大学環境情報学部教授、
内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室長代理/副政府CIO
「持続可能な社会システムの構築を目指して（農業、介護を事例に）」

13. 滝 久雄 / 株式会社ぐるなび代表取締役会長 CEO・創業者、株式会社NKB取締役会長 創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
14. 出口 治明 / 立命館アジア太平洋大学長、学校法人立命館副総長・理事
「これからのリーダーに必要な思考力」
15. 沈 壽官 / 薩摩焼十五代
「伝統を守り現代を表現する」
16. 中村 俊郎 / 中村ブレイス株式会社代表取締役会長
「義肢装具作りの半生『新たなアスリートとの出会い』」
17. 松尾 法博 / 佐賀県立名護屋城博物館学芸課長
「佐賀県立名護屋城博物館 25年の歩み～日本列島と朝鮮半島との交流の歴史～」
18. マハティール・モハマド / マレーシア首相
「アジアの次世代リーダーはいかに未来地図を描くことができるか
— 93歳から10代へのメッセージ」
“How future leaders in Asia can create future map for next generation
-message from 93 years old to the teenager”
19. 宮川 眞喜雄 / 在マレーシア日本国大使
「指導者に相応しい人、相応しくない人。日本のために、アジアのために」
20. 武藤 杜夫 / 日本こどもみらい支援機構代表、元法務省沖縄少年院法務教官
「なぜ、少年院で人生が変わるのか？」
21. 室伏 きみ子 / お茶の水女子大学長
「『研究者』という職業選択～人々が心身ともに健康で暮らせる社会の実現を目指して～」
22. 山口 祥義 / 佐賀県知事
「偉人たちの志を受け継ぎ、未来につなぐ」
23. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、株式会社マンシーズエンターテイメント代表、
立命館大学映像学部客員教授
「映画で世界をみよう」
24. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長、
公益財団法人AFS日本協会理事長
「激動の時代を生き抜き、未来を描くリーダーとは」

第15回 日本の次世代リーダー養成塾 カリキュラム表 (2018年7月26日～8月8日)

敬称略 2018/7/19

日目	日程	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00			
1	7/26 (木)												受付	入塾式	榑原 英資 青山学院大学 特別招聘教授	夕食	スタッフ・ 施設紹介	入浴	就寝準備	就寝		
2	7/27 (金)		朝食	HR(ホームルーム)	加藤 暁子 リーダー塾 専務理事・事務局長	レポート	オリエンテーション 目標設定	昼食	防災訓練	委員会	明石 康 元国連事務次長	レポート	オープニングディス カッション	佐賀行 オリエン テーション	夕食	キャリア教育		就寝準備	就寝			
3	7/28 (土)	佐賀	朝食	掃除	葦津 敬之 宗像大社宮司	レポート	移動	宗像大社・神宝館見学	昼食	移動			荷物移動	入所式	夕食	HR	HR	夕食	就寝準備	就寝		
4	7/29 (日)	佐賀	朝のついで 朝食・掃除	移動	松尾 法博 名護屋城博物館 学芸課長	レポート	名護屋城博物館 見学	弁当 昼食	名護屋城博物館 見学	映画鑑賞	全体 討議	李 鳳宇 映画プロデューサー	レポート	移動	夕食	HR	HR	夕食	アジア学生 プレゼンテーション	就寝準備	就寝	
5	7/30 (月)	佐賀	朝のついで 朝食・掃除		笠谷 和比古 大阪学院大学法学部教授	レポート	15代沈 壽官 薩摩焼15代	レポート	昼食	野外活動			クラス討 議	タベのつ どい	退所式	夕食	HR	HR	夕食	アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝
6	7/31 (火)	佐賀	朝食	荷物移動	移動		山口 祥義 佐賀県知事	移動	幕末維新記念館 見学	昼食	佐賀神社記念 館	移動	荷物移動		夕食				アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝	
7	8/1 (水)	担任交代	朝食	掃除	書禅	中村 俊郎 中村プレス株式会社社長	レポート	ディスカッション	レポート	昼食		鎌田 貴 頭訪中央病院名誉院長	レポート	ディスカッション	レポート	夕食	HR		アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝	
8	8/2 (木)		朝食	掃除	キャリア教育	出口 治明 立命館アジア太平洋大学長	レポート	小手川強二 フンドーキン醤油 株式会社社長	レポート	みそ汁コンテスト	審査発表 片付け		室伏 きみ子 お茶の水女子大学長	レポート	HR	夕食			アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝	
9	8/3 (金)		朝食	掃除	書禅	上方落語 福岡県人隊	レポート	麻生 渡 学校法人福岡工業大学 最高顧問	レポート	昼食		神成 淳司 慶應義塾大学 環境情報学部教授	レポート	ディスカッション	レポート	HR	夕食		アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝	
10	8/4 (土)		朝食	掃除	書禅	滝 久雄 株式会社ぐるなび 会長 CEO・創業者	レポート	卒業生発表		昼食		川勝 平太 静岡県知事	レポート	夢ディスカッション	HR	夕食			アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝	
11	8/5 (日)		朝食	掃除	書禅	武藤 杜夫 日本こどもみらい支援機構代表	レポート	ディスカッション	レポート	昼食		アジア・ハイスクール・サミット			HR	夕食			アジア・ ハイスクール・ サミット	就寝準備	就寝	
12	8/6 (月)		朝食	掃除	書禅	アジア・ハイスクール・ サミット発表		昼食	サミット ふりか えり		小川 洋 福岡県知事	レポート	國分 良成 防衛大学校長	レポート	夕食	HR				就寝準備	就寝	
13	8/7 (火)		朝食	幹事 選出	宮川 眞喜雄 在マレーシア日本国大使	マハティール・モハマド マレーシア首相		レポート	昼食		目標宣言		クロージング ディスカッション	アンケート 記入	夕食		卒業前夜祭	HR		就寝準備	就寝	
14	8/8 (水)		掃除	朝食	掃除 確認	片づけ 確認	卒業式		挨拶など	記念 撮影	歓談	帰路へ										

第15回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

塾生総数 175名 (男子62名・女子113名)
27都道府県とアメリカ・ベトナム・台湾

○参画県推薦枠 113名 (男子39名・女子74名)

1	北海道	9名	(男子 3名)	(女子 6名)
2	青森県	10名	(男子 4名)	(女子 6名)
3	岩手県	10名	(男子 7名)	(女子 3名)
4	静岡県	10名	(男子 0名)	(女子 10名)
5	岐阜県	10名	(男子 5名)	(女子 5名)
6	和歌山県	11名	(男子 4名)	(女子 7名)
7	愛媛県	12名	(男子 5名)	(女子 7名)
8	福岡県	22名	(男子 8名)	(女子 14名)
9	宗像市	3名	(男子 0名)	(女子 3名)
10	佐賀県	14名	(男子 2名)	(女子 12名)
11	うるま市	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
計		113名	(男子 39名)	(女子 74名)

○一般公募枠 62名 (男子23名・女子39名)

1	群馬県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
2	埼玉県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
3	千葉県	3名	(男子 1名)	(女子 2名)
4	東京都	10名	(男子 3名)	(女子 7名)
5	神奈川県	4名	(男子 1名)	(女子 3名)
6	静岡県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
7	愛知県	3名	(男子 2名)	(女子 1名)
8	三重県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
9	京都府	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
10	大阪府	6名	(男子 1名)	(女子 5名)
11	兵庫県	5名	(男子 3名)	(女子 2名)
12	奈良県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
13	岡山県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
14	広島県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
15	香川県	3名	(男子 2名)	(女子 1名)
16	福岡県	7名	(男子 3名)	(女子 4名)
17	佐賀県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
18	長崎県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
19	熊本県	3名	(男子 0名)	(女子 3名)
20	大分県	3名	(男子 2名)	(女子 1名)
21	沖縄県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
22	アメリカ	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
23	ベトナム	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
24	台湾	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
計		62名	(男子 23名)	(女子 39名)

第15回日本の次世代リーダー養成塾 塾生学校一覧

27都道府県とアメリカ・ベトナム・台湾、130校

学校所在地	学校名
北海道	北海道旭川商業高等学校
	私立遺愛女子高等学校
	北海道札幌国際情報高等学校
	私立札幌新陽高等学校
	北海道登別明日中等教育学校
	北海道夕張高等学校
青森県	私立立命館慶祥高等学校
	私立青森明の星高等学校
	青森県立三本木高等学校
	私立松風塾高等学校
	青森県立田名部高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
岩手県	私立八戸工業大学第二高等学校
	岩手県立岩泉高等学校
	岩手県立久慈高等学校
	岩手県立高田高等学校
	岩手県立遠野高等学校
	岩手県立花北青雲高等学校
	岩手県立花巻北高等学校
	岩手県立盛岡第一高等学校
群馬県	私立共愛学園高等学校
埼玉県	私立浦和明の星女子高等学校
千葉県	私立市川学園市川高等学校
	千葉県立柏高等学校
	私立麗澤高等学校
東京都	私立郁文館高等学校
	私立国際基督教大学高等学校
	私立聖心女子学院高等科
	国立東京学芸大学附属高等学校
	国立東京学芸大学附属国際中等教育学校
	私立東京都市大学附属高等学校
	私立東邦音楽大学附属東邦高等学校
	私立豊島岡女子学園高等学校
	東京都立富士高等学校
	私立明治学院東村山高等学校
神奈川県	私立洗足学園高等学校
	私立桐光学園高等学校
	私立フェリス女学院高等学校
岐阜県	私立鶯谷高等学校
	岐阜県立大垣桜高等学校
	岐阜県立大垣東高等学校
	岐阜県立岐阜高等学校
	私立岐阜東高等学校
	私立城南高等学校
	私立高山西高等学校
	岐阜県立武義高等学校
静岡県	静岡県立科学技術高等学校
	私立静岡学園高等学校
	静岡県立清水東高等学校
	静岡県立清水南高等学校
	静岡市立高等学校
	私立常葉大学附属菊川高等学校
	私立常葉大学附属橘高等学校
	静岡県立沼津東高等学校
	静岡県立浜松西高等学校
	私立不二聖心女子学院高等学校
愛知県	私立海陽中等教育学校
	私立名古屋国際高等学校
	私立南山高等学校女子部
三重県	私立四日市刈ノール学院高等学校
京都府	私立同志社国際高等学校
大阪府	国立大阪教育大学附属高等学校池田校舎
	私立関西学院千里国際高等部
	私立四天王寺高等学校
	私立清風高等学校

学校所在地	学校名
兵庫県	兵庫県立神戸商業高等学校
	兵庫県立星陵高等学校
	兵庫県立北条高等学校
奈良県	私立三田学園高等学校
	私立西大和学園高等学校
和歌山県	私立開智高等学校
	和歌山県立桐蔭高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
岡山県	私立和歌山信愛高等学校
	岡山県立岡山一宮高等学校
広島県	岡山県立倉敷天城高等学校
	私立広島三育学院高等学校
香川県	私立大手前高松高等学校
	私立香川誠陵高等学校
愛媛県	香川県立高松桜井高等学校
	愛媛県立今治西高等学校
	愛媛県立今治南高等学校
	愛媛県立大洲高等学校
	愛媛県立西条高等学校
	愛媛県立松山北高等学校
	愛媛県立松山西中等教育学校
	愛媛県立松山東高等学校
	愛媛県立三瓶高等学校
	愛媛県立三崎高等学校
	愛媛県立八幡浜高等学校
	愛媛県立弓削高等学校
	福岡県
福岡県立育徳館高等学校	
福岡県立嘉穂高等学校	
福岡県立輝翔館中等教育学校	
私立九州産業大学附属九州高等学校	
福岡県立玄洋高等学校	
福岡県立山門高等学校	
福岡県立城南高等学校	
私立西南学院高等学校	
福岡県立筑紫丘高等学校	
私立筑紫女学園高等学校	
私立東海大学附属福岡高等学校	
福岡県立戸畑高等学校	
私立中村学園女子高等学校	
私立福岡海星女子学院高等学校	
私立福岡雙葉高等学校	
福岡県立宗像高等学校	
私立明光学園高等学校	
私立八女学院高等学校	
福岡県立八女高等学校	
私立リンデンホールスクール中高学部	
佐賀県	佐賀県立唐津東高等学校
	佐賀県立巖木高等学校
	私立弘学館高等学校
	私立佐賀学園高等学校成穎高等部
	佐賀県立多久高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立致遠館高等学校
	佐賀県立三養基高等学校
私立早稲田佐賀高等学校	
長崎県	私立精道三川台高等学校
熊本県	熊本県立宇土高等学校
大分県	大分県立中津南高等学校
沖縄県	沖縄県立具志川商業高等学校
	沖縄県立向陽高等学校
	沖縄県立与勝高等学校
ベトナム	British International School Hanoi
アメリカ	私立慶應義塾ニューヨーク学院高等部
台湾	私立淡江高級中学校

第15回日本の次世代リーダー養成塾 アジア奨学生概要

○奨学生総数11名 (男:4名 女7名)

1	中国	3名	(男子 0名)	(女子 3名)
2	マレーシア	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
3	モンゴル	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
4	韓国	2名	(男子 2名)	(女子 0名)
5	タイ	1名	(男子 0名)	(女子 1名)

○奨学生学校一覧(5ヶ国 7校)

中国	成都外国語学校
	石家庄外国語学校
マレーシア	帝京マレーシア日本語学院
モンゴル	新モンゴル小中高一貫学校
韓国	啓聖高等学校
	釜一外国語高等学校
タイ	THE PRINCE ROYAL'S COLLEGE

主催者からのメッセージ

中西 宏明 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）



この数年で世界情勢は大きく変化しました。各国のパワーバランスの変化により旧来の国際秩序がゆらぎ、反グローバリズムやポピュリズムの台頭といった新たな時代に直面しています。一方、テクノロジーの分野ではAIなどを駆使したデジタル化による新たな産業革命（第4次産業革命）が、産業・医療・交通など社会のあらゆる分野で進行中です。社会課題の解決と経済的な発展を両立する「Society 5.0」という全く新しい社会が到来しつつあります。

今、私たちがやらなければいけないことは、多様性を受容できる、豊かで活力ある日本をつくりあげることです。国際協調を大切にしつつ、「モノからコト」「所有から利用」に代表される社会の変化の中で、新たな価値を創造しなくてはならないのです。そのためには多くのイノベーションが必要であり、若い世代の新しい発想と推進力を必要としています。皆さんには、文系・理系といった区分けをしないで、人とのコミュニケーションを大切にグローバルな視点でよく学び、新たな社会の実現に貢献していただきたいと思っております。

本塾では、仲間たちと切磋琢磨し、視野を広げ、様々な課題に真正面から取り組むことで、お互いの立場や考え方の違いに気付き、それを乗り越える知恵を養ってください。また、お互いのアイデンティティを尊重しつつ、いつでも誰でもリーダーに成り得ることを学び、実践してほしいと思います。本塾での経験が、皆さんの未来を切り拓く力になることを期待しています。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	中西 宏明／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資／青山学院大学特別招聘教授
筆頭理事	小川 洋／福岡県知事
理事	浅野 史郎／神奈川大学特別招聘教授
理事 （顧問兼務）	麻生 渡／元全国知事会会長・学校法人福岡工業大学最高顧問
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社相談役
理事	伊豆 美沙子／福岡県宗像市長
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	小島 順彦／三菱商事株式会社相談役
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社特別顧問
理事	高橋 はるみ／北海道知事
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび代表取締役会長 CEO・創業者 株式会社NKB取締役会長 創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	張 富士夫／トヨタ自動車株式会社相談役
理事	中村 時広／愛媛県知事
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／特定非営利活動法人九州・アジア経営塾理事長兼塾長
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社特別顧問
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 寛／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子
（事務局長兼務）	
監事	遠藤 泰昭／九州電力株式会社上席執行役員